



第198回 深田研談話会

深田地質研究所では、「地質学およびその関連分野における先端的研究者と、地質・地質工学関係の、とくに若手技術者との相互交流の場を設け、交流を通して応用地質学の実践と技術の向上を図る」ことを目的として、「深田研談話会」を開催しております。

跡倉ナツプから探る

大崩山

日本列島の地体構造

四ッ又山

川井山



下仁田町東部大橋からみた鎚川（御荷鉾緑色岩）と、その上に乗るクリッペ群（左から大崩山：前期白亜紀跡倉層、四ッ又山：前期白亜紀変成岩・花崗岩、川井山：ペルム紀花崗岩・ホルンフェルス）

講演概要 群馬県下仁田地域をはじめ関東山地北縁部の御荷鉾帯には2重のナツプ構造が認定されており、跡倉ナツプとして古くから知られています。本講演では、これまで研究室で進めてきたナツプの構成要素やナツプの運動履歴の検討に基づき、関東から九州に至る西南日本を中心とした日本列島の地体構造について、振り返ります。

高木 秀雄 氏

早稲田大学教育・総合科学学術院
地球科学教室 教授

日時 2023年7月24日（月）
15:00～16:30【14:30 開場】

場所 深田地質研究所 研修ホール
& オンライン (Zoomウェビナー)
※会場とオンラインのハイブリッド開催

定員 会場参加:30名 (先着順) **参加費 無料**
オンライン参加:450名

CPD単位 「深田研談話会」は、CPD (継続教育) 履修実績として申請できます (1.5単位)



都営地下鉄三田線千石駅下車A1出口より徒歩3分

参加ご希望の方は、必ず事前に深田研ホームページよりお申込み下さい。
申込み期間：2023年6月26日（月）～7月18日（火）17:00 (定員に達し次第締め切ります)
本イベントに関するお問い合わせ先: fgi_event@fgi.or.jp

